

DIARECO

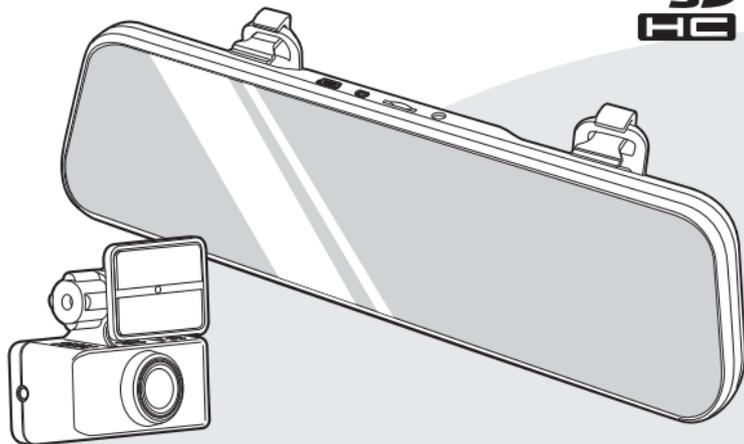
リアカメラ搭載
ルームミラー型ドライブレコーダー
NDR-RC229FMG



取扱説明書 兼 保証書



GPS アンテナ
付属



このたびは本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本書は車載用ドライブレコーダー本体およびシステムに関する取扱説明書です。

- ご使用前には、本書をよくお読みの上、記載された内容にしたがって正しくご使用ください。
- 裏表紙の保証書に「お買い上げ日・販売店名」などが記入されているか必ずお確かめの上、本書とともに大切に保管してください。



事故が発生した場合、録画データが上書きされないよう電源をオフにし、microSDカードを抜いて保管することをお勧めします。

RC229FMG2207V1

目次

はじめに

- 免責事項／使用前の注意 1
- 使用上の注意 2

製品内容

- 内容物 5
- 各部の名称 6

取り付け方法

- 取り付ける前に必ずお読みください 7
- 取り付け方
 - ・ ルームミラーに取り付ける 8
 - ・ シガーソケットへの接続 9
 - ・ リアカメラを取り付ける 10
 - ・ GPS アンテナを取り付ける 13

基本動作説明

- 起動する
 - ・ 起動する 14
 - ・ 起動時に確認すること 14
 - ・ 録画する 15
 - ・ 録画画面の操作方法 16
 - ・ 電源を切る 16
 - ・ リセットする 16
- ファイルの再生／保護／削除
 - ・ 再生メニューを表示する 17
 - ・ ファイルを再生する 18

- ・ ファイルを保護する 19
- ・ ファイルを保護解除する 20
- ・ ファイルを削除する 20

■ 設定する

- ・ 設定メニューを表示する 21
- ・ 駐車録画をする 22
- ・ 日付／時刻を設定する 23
- ・ microSDHC カードのフォーマット 24
- ・ 設定をリセットする 25
- ・ 初期値一覧 25

■ microSDHC カードについて

- ・ microSDHC カードの取り扱い方 26
- ・ microSDHC カードの入れ方／出し方 26

■ 録画ファイルについて

- ・ 録画時間の目安 27
- ・ 録画ファイルの種類について 27
- ・ microSDHC カードの容量の割当 27
- ・ パソコンでファイルを見る 29

トラブルシューティング

- 故障かな？と思ったら 30

本体仕様 / アフターサービス

- 仕様 32
- アフターサービス 33

保証書

裏表紙

はじめに

免責事項／使用前の注意

【免責事項】

- ・本製品を使用することによって生じた、直接・間接の損害、データの消失などについては、当社は一切その責任を負いかねます。
- ・本製品（ソフトウェア含む）は日本国内での使用を前提としており、日本国外で使用された場合の責任は負いかねます。
- ・本製品を使用中にデータ等が消失した場合でも、データなどの保証は当社では一切の責任を負いかねます。
- ・正常に取り付けられていない場合、本製品が落下することがあります。
誤った取り付け方、誤った場所に取り付けたことにより発生する製品ならびに車の異常は、当社では一切の責任を負いかねます。
- ・本製品で録画した映像は、使用目的や使用方法によっては、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますが、当社は一切の責任を負いかねます。
- ・microSD カード内のデータ加工などによるデータ破損・紛失などは当社では一切の責任を負いかねます。microSD カードの紛失または使用者の不注意による損傷などは保証対象外となり、当社では一切の責任を負いかねます。
- ・microSD カードの消耗に起因する故障、または損傷については当社では一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。



安定的な動作のため、1～2週間に一度の microSD/SDHC（以下、microSD カードと表記します）のフォーマットをおすすめします。

microSD カードは消耗品です。長期間使用すると保存機能に問題が発生する恐れがありますので、定期的に新しい microSD カード（Class 10 以上）に買い替えることを推奨します。

【使用前の注意】

- ・取扱説明書および本製品の仕様に関して、改良のため予告なく変更することがあります。
- ・本書に掲載されているイラストはイメージであり、実際とは異なる場合があります。
- ・本書の内容に関しましては万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点や誤りなどお気づきの点がありましたら、サポートセンターまでご連絡いただきますようお願いいたします。

はじめに

使用上の注意

このたびは本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に、安全上の注意をよくお読みの上、正しくご使用ください。

この項に記載しております注意事項、警告表示には、使用者や第三者への人的危害や財産への損害を未然に防ぐ内容を含んでおりますので、必ずご理解の上、守っていただくようお願い致します。

次の表示区分に関しましては、表示内容を守らなかった場合に生じる危害、または損害程度を表します。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が重傷を負う可能性、および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



この絵表示は、「注意」しなければならない内容です。



この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。



長時間、高温・直射日光にさらされる場所や湿度の高い場所への設置、車内への放置は故障の原因となります。使用しない場合は必ず本体を外して保管してください。

警告



ケーブル類は、運転操作の妨げにならないようにまとめてください。ハンドルやシフトレバー・ブレーキペダルなどに巻き付くと危険です。

事故・ケガの原因となります。



本機は外国車では使用できない場合があります。

本機は DC12~24V 対応です。ただし、シガーソケットの形状により使用できない場合があります。



本機は運転操作や視界の妨げにならない場所に取り付けてください。

正しく取り付けないと事故・ケガの原因となります。



本機のレンズ部を清潔にしてください。

本機のレンズ部に異物またはステッカーなど視野を妨げるものがある場合には正常な録画ができません。また、周りに物が置いてある場合にもガラスに反射して見える場合がありますので、周りには物を置かないようにしてください。



本機を分解・改造したり、衝撃を与えたりしないでください。

火災・感電・故障の原因となります。



本機またはケーブルをエアバッグの動作を妨げる場所には絶対に取り付けしないでください。

事故・ケガの原因となります。



本機を医療機器の近くで使用しないでください。

電波により医療機器に悪影響を与えるおそれがあります。心臓ペースメーカー等の医療機器をご使用の場合、各機器のメーカー、医師に必ずご相談ください。



本機に付属の部品以外は使用しないでください。

指定以外の部品を使用しますと、破損、燃焼、正常に設置できず外れることがあり、危険です。必ず付属品をご使用ください。



水、湿気、蒸気、ホコリ等が多い場所には設置しないでください。

事故・火災・感電・故障の原因となります。



本機の画面が映らない、音が出ない、異常な動作をするなど故障した状態のまま使用しないでください。

ただちに使用を中止して、お買い上げの販売店またはサポートセンターまでご連絡ください。事故・火災・感電の原因となります。



走行中は製品の操作をしないでください。

必ず安全な場所に車を停止させ、パーキングブレーキをかけてから行ってください。



microSD カードを小さなお子様手の届くところに置かないでください。

誤って飲み込んだりケガなどの原因になることがあります。



注意



一定以下の衝撃／事故では、イベント録画されない場合があります。

常時録画になります。



事故が発生した場合、電源をオフにし microSD カードを抜いて保管することをお勧めします。

録画データが上書きされる恐れがあります。



取り付けはしっかり行ってください。

製品動作に問題を起こしたり脱落 / 落下する恐れがあります。



本機内部に異物や液体が入らないように気をつけてください。

故障の原因となります。



適正温度以上の高温ならびに以下の低温で使用しないでください。

本機は -10°C～60°C で正常に動作します。



本機を濡れた手で触らないでください。

感電やケガの原因となります。



本機を拭くときにベンゼン、シンナー、アルコールなどは使用しないでください。

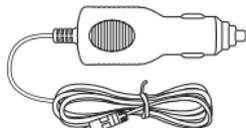
製品に傷がつくことがあります。本機を拭くときは柔らかい布を使って乾拭きをしてください。

製品内容

内容物



本体



専用シガー電源アダプター

OP-CA25D
(DC12V/24V) 2.5A
ケーブル長：3.5m



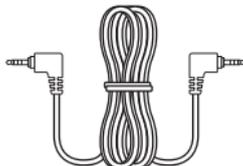
取付バンド 2 個

OP-B167MD
※本体に装着済



専用リアカメラ (車内用)

OP-RC22FHD



専用リアカメラ接続ケーブル

OP-RC22CA

ケーブル長：約 7m

- ケーブル固定クランプ **OP-CC16** (クランプ 16 個) (※適切な場所、個数をご使用ください。)
- microSD カード **OP-SD32C10** (32GB Class10、購入日より保証 90 日間))
- 取扱説明書 兼 保証書 **OP-M229MG (本書)**
- GPS アンテナ **OP-GPS15** (ケーブル長：約 1.5m)

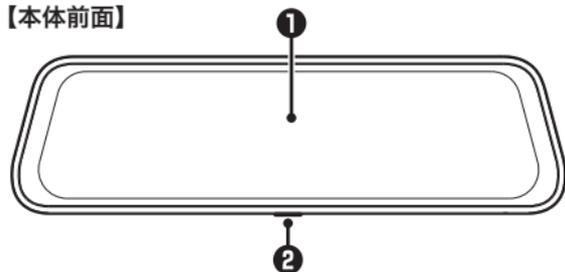
※内容物がすべて揃っていることを確認してください。

※本製品は 8~32GB までの microSD カード (Class 10 以上) に対応しています。

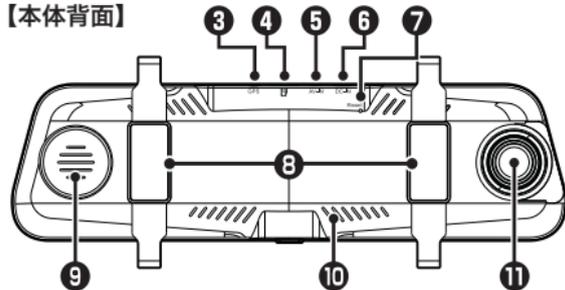
※製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

各部の名称

【本体前面】



【本体背面】



- ① LCD モニター (9.35 インチ IPS)**
 録画中の映像、設定内容、操作ボタンなどを表示します。
- ② 切り替えボタン**
 短押しすると、モニターのカメラ切り替え（フロント/フロント+リア /リア）を行います。
 約 1 秒間長押しして離すと、モニターを表示 / 非表示します。
- ③ GPS アンテナ入力端子 (GPS)**
 GPS アンテナを接続します。(→ [P.13](#))
- ④ microSD スロット**
 記録用の microSDHC カードを挿入します。(→ [P.26](#))
- ⑤ カメラ入力端子 (AV-IN)**
 専用リアカメラ（接続ケーブル）を接続します。(→ [P.10](#))
- ⑥ 電源端子 (DC-IN)**
 専用シガー電源アダプターを接続します。(→ [P.9](#))
- ⑦ リセットボタン**
 本機を強制的に再起動する際に使用します。(→ [P.16](#))
- ⑧ 取付バンド部**
 純正のルームミラーに取り付ける部位です。
- ⑨ スピーカー**
 効果音や録画ファイルの音声を出力します。
- ⑩ マイク**
 録画時の周囲音を録音します。
- ⑪ カメラレンズ**
 車両前方を撮影します。
 レンズ部をスライドし、引き出して使用します。

取り付ける前に必ずお読みください

取り付け時の注意事項

- 取扱説明書にしたがって正しく取り付けてください。誤った取り付けは、道路運送車両法違反となります。
- 本製品は二輪車でのご使用を想定していません。二輪車でのご使用はおやめください。
- 取り付ける前に、本機に電源ケーブルが接続でき、操作が行える位置かどうかをご確認ください。
- 純正ルームミラーの形状、または周辺の干渉物によっては取り付けできない場合があります。
- 本機は純正ルームミラーと距離感、視界が異なります。
- 本機は電子ミラーとしてもご利用いただけますが、リアカメラからの映像を表示するため、実際の距離感、視界とは異なりますので十分にご注意ください。
- microSDHC カードを挿入する向きにご注意ください。
- 取り付けおよび角度の調整を行う場合、必ず純正のルームミラーを持ちながら行ってください。ルームミラーを持たずに行くと、本機が外れたり、取付強度の弱い一部の車両（軽自動車やフロントガラス接着型の車等）のルームミラーが破損する恐れがあります。
- 本機の鏡面に衝撃を与えないでください。
- 本機の近くに GPS 機能を持つ製品や VICS 受信機を設置すると、誤動作を起こす可能性があります。
- テレビ/ラジオアンテナの近くで使用すると、ノイズが発生したり、音飛び、感度低下の原因となる場合があります。アンテナからできるだけ離して設置し、干渉しないかどうかをご確認ください。
- 本機がルームミラーにしっかり装着されていることをご確認の上、走行してください。
- 本機はルームミラーに直接取り付けするため、振動によりミラーが振れてしまったり、ルームミラーが傾く場合があります。
- 本機を装着すると、純正ルームミラーの防眩機能は使用できなくなります。
- カメラレンズ周囲に他のものを配置しないでください。映像に映り込む可能性があります。
- 本機の取付バンドは、時間が経過すると劣化します。劣化すると製品の脱落/落下につながりますので、新しい取付バンドに交換してください。交換の際は、サポートセンターにお問い合わせください。
- 取付時に、カメラレンズの保護フィルムを必ずはがしてください。

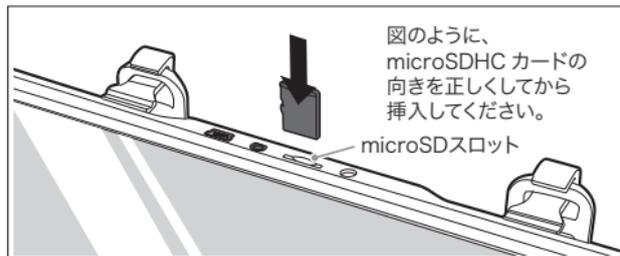


本機に付属している専用リアカメラ以外は絶対に接続しないでください。
故障、火災の原因となります。

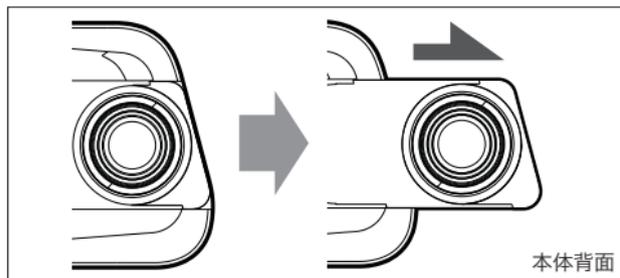
取り付け方

ルームミラーに取り付ける

- 1** 本体上部の microSD スロットに、microSDHC カードを
図のように「カチッ」と音がするまで挿入します。

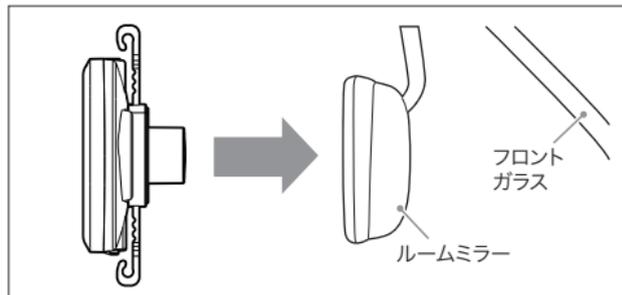


- 2** カメラを横にスライドして引き出します。



- 3** フロントガラスの汚れ、油分などをふきとります。

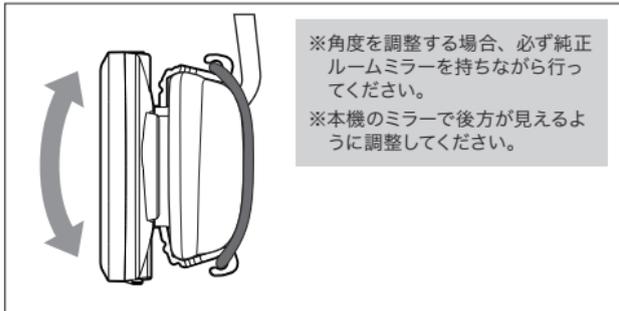
- 4** 本機についている取付バンドを外して、ルームミラーに本機を合わせます。



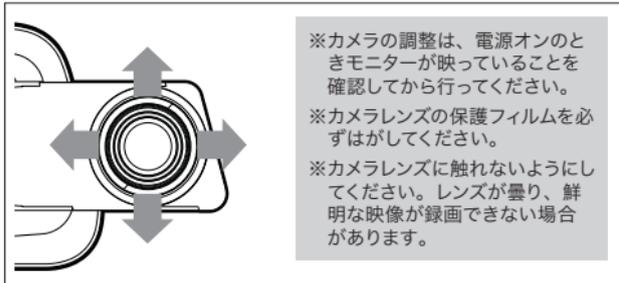
- 5** ルームミラーの後方から、取付バンドを取り付けます。走行中に落下しないようにしっかり取り付けてください。



6 ルームミラーの角度を調整します。



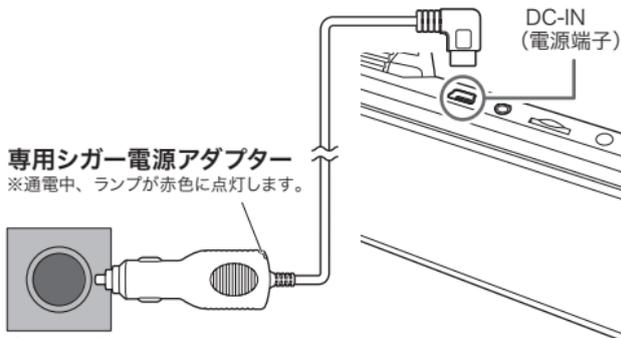
7 カメラの角度を微調整します。



 電源をオンにした後、適切な場所を映しているかモニターを一度確認してください。

シガーソケットへの接続

- 1 専用シガー電源アダプターを本機と車のシガーソケットに接続します。(通電すると電源が入ります)



車のシガーソケットへ

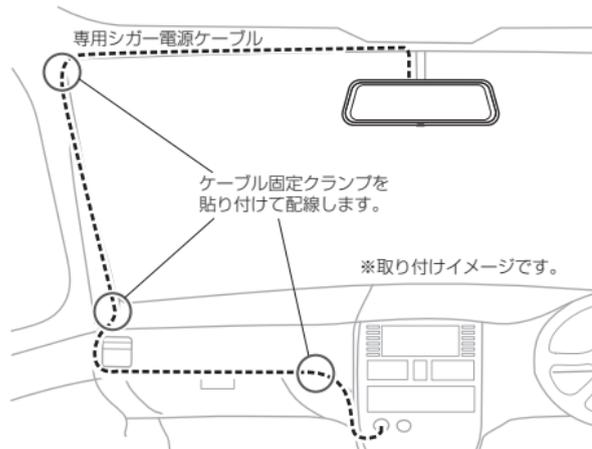
※最後までしっかり差し込んでください。

- ・シガーソケットの中に異物がないか確認してから、専用シガー電源アダプターを入れてください。
- ・本機は DC12/24V 車対応です。シガーソケットの形状 (外国車等) によっては使用できない場合があります。



付属の専用シガー電源アダプター以外の電源ケーブルは、絶対に使用しないでください。故障の原因となります。

- 2 付属のケーブル固定クランプを使って、視野の妨げや運転操作、エアバッグ動作に支障がないように配線してください。



※配線によっては、まれに他の機器と干渉し合うことがあります。その場合、別の配線をお試しください。



- ・走行中、落下しないようにしっかり取り付けてください。
- ・取り付けは必ず車を停止した状態で行ってください。
- ・車種によっては、エンジンを切っても電源が切れない場合があります。その際は手動で電源を切るか、シガーソケットから電源アダプターを取り外してください。

リアカメラを取り付ける

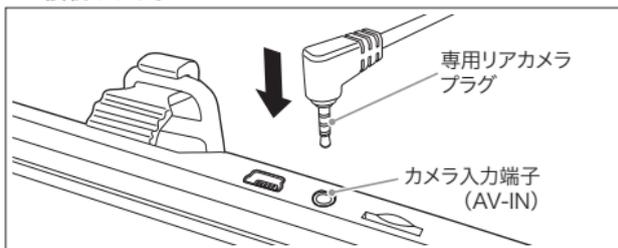


本機に付属している専用リアカメラ以外は絶対に接続しないでください。故障、火災の原因となります。

- 1 リアカメラを取り付ける適正な位置を決め、汚れ、油分等をふきとります。



- 2 本機のカメラ入力端子(AV-IN)に、専用リアカメラプラグを接続します。



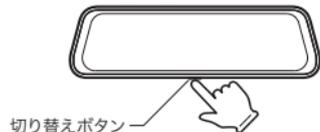
●リアカメラ映像の表示方法

下記のいずれかの方法を行います。

その1：モニターに表示される  をタッチします。



その2：本体下部の切り替えボタンを短押しします。



画面が以下のように切り替わります。



※フロント+リアのとき、映像は固定されてスライドができません。

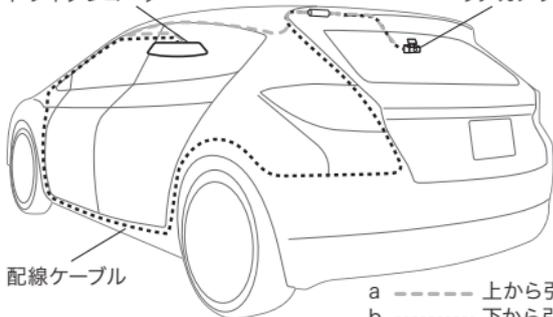
※GPSを受信した状態で走行すると、フロントカメラ映像を表示している場合、自動的にリアカメラの映像に切り替わります。

また、走行中はフロントカメラ映像に切り替えることができません。

3 専用リアカメラ接続セットのケーブルを配線します。

ドライブレコーダー

リアカメラ



配線ケーブル

a ----- 上から引き回す

b 下から引き回す

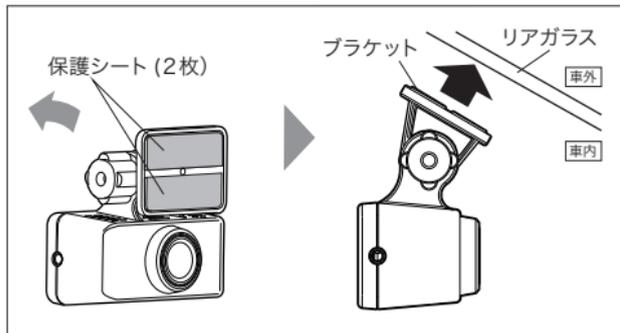
- 付属のケーブル固定クランプを使って、視野の妨げや運転操作、エアバッグ動作に支障がないように配線してください。
- バックドアやトランク等を開閉し、ケーブルが挟まれないか確認してください。またケーブルが引っ張られる場合、ケーブルを余分にたるませて引き回してください。
- この状態で電源を入れると、モニターにリアカメラの映像が表示されるようになります。（リアカメラ起動）
- 上記のイラストはあくまでも一例です。お客様の車種に合わせて配線してください。



リアカメラは防水仕様ではありませんので、車外には設置しないでください。故障の原因になります。

4 本機の電源を入れ、モニターのリアカメラ映像を確認しながら、リアカメラの取り付け位置を決めます。

- 5** リアカメラの両面テープ保護シートを剥がして、リアガラスに取り付けます。このとき、ブラケットの△印が上を向くようにテープを貼り付けてください。
貼り付け後、固定するためにしばらく放置します。



- ※リアカメラは防水仕様ではありませんので、車外には設置しないでください。故障の原因になります。
- ※走行中、落下しないようにしっかり取り付けてください。
- ※取り付け時、カメラの調整時は停車した状態で行ってください。
- ※電熱線にかからないように取り付けてください。
- ※映像に電熱線が映り込むと、鮮明な映像が録画できませんので、角度を調整するときにご確認ください。
- ※一度シガー電源アダプターを差し込んで、確認してください。

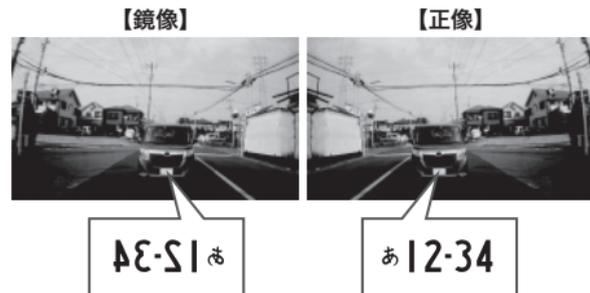
 電源をオンにした後、適切な場所を映しているか、画面を一度確認してください。(→P.12)

- 6** ドライブレコーダーのモニターを確認しながら、リアカメラの表示範囲を調整します。
モニターをタッチしながら上下にスライドすると、映像内を移動することができます。(モニターに表示される映像は、録画している映像の一部を表示しています。(→P.16))



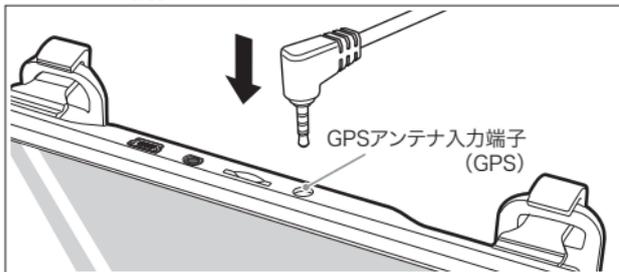
●リアカメラ映像について

本機のリアカメラ映像は、動作中はモニターに「鏡像」で表示されますが、データは「正像」で保存されます。

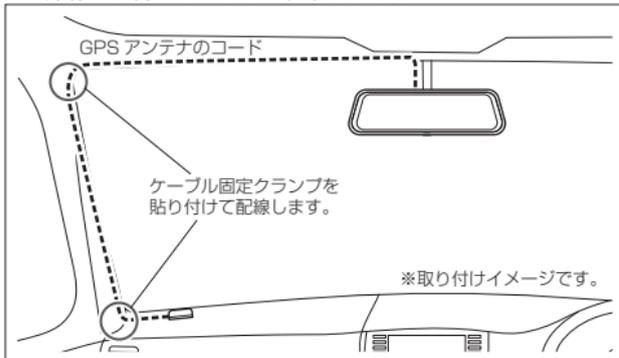


GPS アンテナを取り付ける

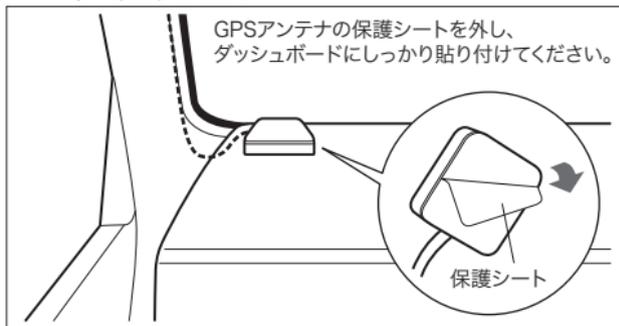
- 1** 本機の GPS アンテナ入力端子 (GPS) に、GPS アンテナのプラグを接続します。



- 2** 付属のケーブル固定クランプを使って、視野の妨げや運転操作に支障がないように配線します。



- 3** GPS アンテナをダッシュボードの平らな部分に、なるべく水平に取り付けます。



※テレビ/ラジオアンテナの近くに取り付けしないでください。GPS 電波の受信の妨げになったり、テレビ/ラジオの映像や音声の乱れの原因になります。

※ダッシュボードの形状によっては、取り付けられない場合があります。

※受信状態が悪い場合は、GPS アンテナを移動して受信状態の良い場所に移動してください。

※次の場合、受信感度が低下する場合があります。

- ・フロントガラスが熱反射や断熱ガラスなど、電波を通さない場合
- ・フロントガラスにミラータイプのフィルムを貼っている場合

※フロントカメラの映像を表示している場合、GPS を受信した状態で走行すると、自動的にリアカメラの映像に切り替わります。

基本動作説明

起動する

起動する

- 1 microSD スロットに microSD カードを挿入します。
(→ P.26)
- 2 専用シガー電源アダプターを接続します。(→ P.9)
- 3 車の ACC がオンになると電源が入り (エンジンキー電源連動)、モニターに起動画面が表示されます。起動画面が表示された後、録画モードに切り替わります。



録画を開始すると、画面上部に録画マーク(●)が表示されます。



起動時にリアカメラが接続されていると、リアカメラの映像から表示されます。

起動時に確認すること

●日付/時刻が正しく設定されているか確認する
ご購入時、または長時間使用していなかった場合、日付/時刻がリセットされています。その際は、GPS を受信すると日時情報が設定されます。

※P.23 「日付/時刻を設定する」において、手動で設定することもできますが、GPS を受信した場合、GPS 情報を優先して設定されます。

●microSD カードが挿入されているか確認する
挿入されていないと、「SD カードが挿入されていないか、認識できません」と表示されます。



●動体検知が「オフ」であるか確認する

動体検知が「オン」の場合、駐車モードなので常時録画をしません。

一般設定の「動体検知」を「オフ」にしてから、録画を開始してください。(→ P.23)

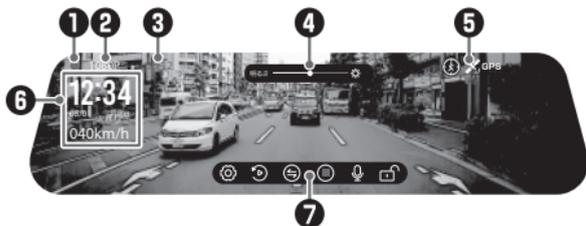


電源を入れ直すと、動体検知 (駐車モード) は自動で「オフ」になります。

録画する

microSD カードが挿入された状態で本機を起動すると、自動的に常時録画を開始します。

【録画面面】



1 録画

録画中（常時）：●が赤く点滅します。
録画中（イベント）：●が黄色く点滅します。
スタンバイ中：●が消灯します。

2 解像度

フロントカメラで録画するときの解像度を表示します。
(解像度は1080Pで固定されています。)

3 録画時間

スタンバイ中は表示しません。
録画中は赤文字で表示します。(録画時間)

4 明るさ

モニターの明るさを表示します。
モニターをタッチしながら左右にスライドすると表示します。

5 アイコン

：動体検知が「オン」のときに表示します。

：GPS アンテナを接続すると表示します。

GPS を受信している

GPS を受信していない

6 日時情報/速度情報

※速度情報は、GPS アンテナを接続し、GPS を正しく受信していると白文字で表示されます。

7 操作アイコン

スタンバイ中にタッチすると、設定メニューを開きます。

スタンバイ中にタッチすると、再生メニューを開きます。

録画中/スタンバイ中にタッチすると、フロント/フロント+リア/リアカメラの映像を切り替えます。

録画中に をタッチすると、録画を停止します。
スタンバイ中に をタッチすると、録画を開始します。

録画中/スタンバイ中にタッチすると、音声録音のオン/オフを切り替えます。

録画中にタッチすると、「ピッ」という効果音が鳴り、イベント録画として保存されます。(手動録画)

のときにタッチすると、イベント録画を解除して常時録画に戻ります。

起動後、しばらくすると「4明るさ」「7操作アイコン」が非表示になります。

⑦はモニターをタッチする、④はモニターをタッチしながら左右にスライドすると表示します。

録画面面の操作方法

●表示範囲を変える

モニターに表示される映像は、録画している映像の一部を表示しています。

モニターをタッチしながら上下にスライドすると、表示範囲を変えることができます。



イメージ図

—— 表示範囲
- - - - - 実際の録画範囲

●明るさを設定する

モニターをタッチしながら左右にスライドすると、モニターの明るさを調整することができます。



暗い ←————→ 明るい
スライド方向

●画面を非表示にする

モニターに映像が表示されているときに、切り替えボタンを約1秒間長押しすると、モニターが非表示になり通常のルームミラーとして使用できます。

切り替えボタンを押すかモニターをタッチすると、モニターに映像が表示されます。

電源を切る

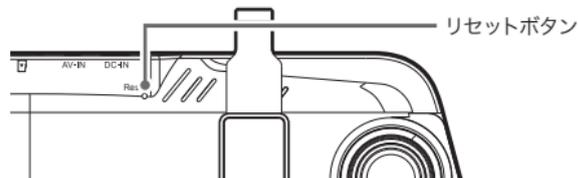
車のエンジン (ACC) を切ったり、シガー電源アダプターを抜くと、モニターが非表示になります。

数秒後に効果音が鳴って電源が切れます。

※モニターが非表示になっても本体は動作していますので、電源が切れるまで録画します。

リセットする

「ボタンを押しても反応しない」「画面がフリーズしてしまった」など、本機が動作しなくなったり誤動作を起こしたりした場合、本体背面のリセットボタンを押して再起動をしてください。



※先端の細いもので、軽く押ししてください。

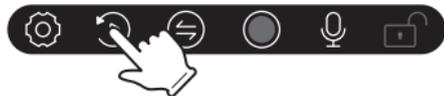
ファイルの再生／保護／削除

再生メニューを表示する

- 1 録画中の場合、を押して録画を停止します。
 (※録画中は、再生メニューを表示できません。)



- 2 を押して、再生メニューを表示します。



- 3 再生メニュー画面を表示します。

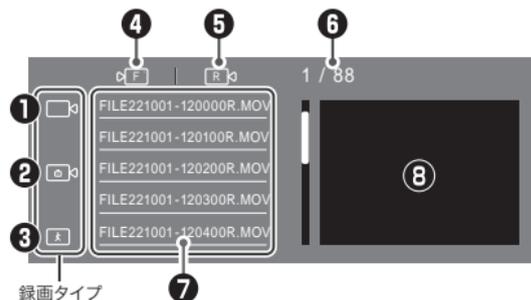


録画面に戻る



録画モード以外の操作をしているとき、録画は行われません。

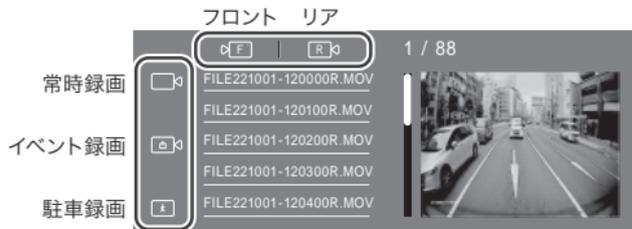
【再生メニューの画面】



- 録画タイプ
- ① 常時録画  常時録画で撮影したファイル
 - ② イベント録画  イベント録画で撮影したファイル
 - ③ 駐車録画  駐車録画で撮影したファイル
 - ④ フロントカメラ  フロントカメラで撮影したファイル
 - ⑤ リアカメラ  リアカメラで撮影したファイル
 - ⑥ ファイル数 選択しているファイル/全体のファイル数
 - ⑦ ファイル 録画したファイル一覧
このエリアを、画面をタッチしながら上下にスライドすると、ファイルを前後（録画順）に移動することができます。
 - ⑧ プレビュー 選択したファイルを表示します。
保護されているファイルは、プレビュー左上に  が表示されます。

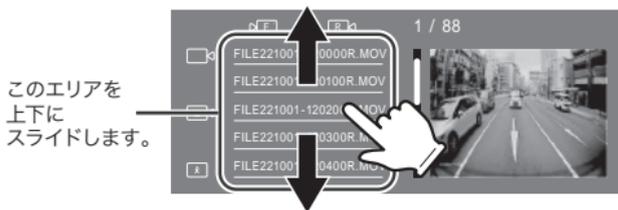
●録画タイプとフロント/リアカメラの切り替え

- ・アイコン   をタッチすると、映像の録画タイプが切り替わります。
- ・アイコン   をタッチすると、フロント/リアカメラ映像が切り替わります。



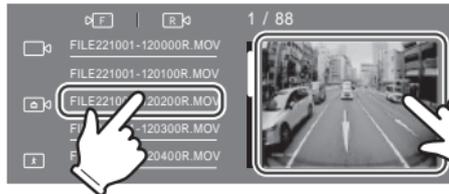
●ファイルの選択について

ファイルの表示されているエリアを上下にスライドすると、ファイルを移動することができます。



ファイルを再生する

- 1 録画中の場合、 を押して録画を停止します。
(※録画中は、再生メニューを表示できません。)
- 2  を押して、再生メニューを表示します。
- 3 録画タイプから常時/イベント/駐車、カメラからフロント/リアカメラを選択します。
- 4 再生したいファイルを選択します。
- 5 ファイル名もしくはプレビュー画面をタッチして、映像を再生します。



- 6 再生メニュー画面に戻るには  をタッチします。

【再生中の画面】



- ① 再生時間 現在の再生時間/録画時間
- ② 操作ボタン
 - 再生中のファイルを保護/保護解除します。
 - 次のファイルを再生します。
 - ファイルを再生します。
 - ファイルを一時停止します。
 - 前のファイルを再生します。
 - 再生中のファイルを削除します。
 - ファイル一覧画面に戻ります。

※再生時、モニターに表示される映像は、画面比率のため横長に見えますが、実際の映像は 16 : 9 の比率で録画されています。

ファイルを保護する

- 1 録画中の場合、 を押して録画を停止します。
(※録画中は、再生メニューを表示できません。)



- 2 を押して、再生メニューを表示します。



- 3 録画タイプから常時/イベント/駐車、カメラからフロント/リアカメラを選択します。

- 4 保護したいファイルを選択します。

- 5 ファイル名もしくはプレビュー画面をタッチして、映像を再生します。

- 6 をタッチすると「ファイルを保護しました。」と表示し、ファイルが保護されます。 が に替わります。



フロントカメラ、リアカメラどちらかのファイルを「保護」すると、もう一方のファイルも連動して「保護」されます。

ファイルを保護解除する

保護された状態で  をタッチすると、「ファイルの保護を解除しました。」と表示され、ファイルが保護解除されます。

 アイコンが  に替わります。



・この項で説明している「保護」とは、イベント録画のことではありません。各録画タイプにおいて、保存しておきたいファイルに対して「ロック」をかけることで、誤って削除されるのを防ぎます。ただし、SDカードのフォーマットを行うと、保護したファイルも削除されてしまいますのでご注意ください。

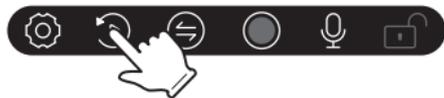
・フロントカメラ、リアカメラどちらかのファイルを「保護解除」すると、もう一方のファイルも連動して「保護解除」されます。

ファイルを削除する

1 録画中の場合、 を押して録画を停止します。
(※録画中は、再生メニューを表示できません。)



2  を押して、再生メニューを表示します。



3 録画タイプから常時/イベント/駐車、カメラからフロント/リアカメラを選択します。

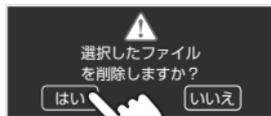
4 削除したいファイルを選択します。

5 ファイル名もしくはプレビュー画面をタッチして、映像を再生します。

6  をタッチします。



7 「選択したファイルを削除しますか？」とメッセージを表示しますので、「はい」をタッチします。



※削除しない場合、「いいえ」をタッチしてください。

※保護されているファイルは削除できませんので、保護解除してから操作を行ってください。

8 ファイルが削除され、再生メニューに戻ります。



フロントカメラ、リアカメラどちらかのファイルを「削除」すると、もう一方のファイルも連動して「削除」されます。

基本動作説明 設定する

設定メニューを表示する

- 1 録画中の場合、 を押して録画を停止します。
(※録画中は、設定メニューが表示できません。)



- 2  を押して、設定メニューを表示します。

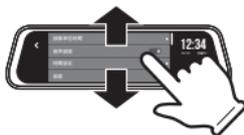


- 3 設定メニューの画面を表示します。



録画画面に戻る

メニューを上下にスライドすると、メニューを移動できます。



項目	説明
録画単位時間 (初期値：1分)	1ファイルあたりの録画時間を設定します。 1分/2分/3分
音声録音 (初期値：オン)	音声録音のオン/オフを設定します。
時間設定	日付と時刻を設定します。(→P.23)
言語 (初期値：日本語)	表示する言語を設定します。 日本語/English(英語)
自動LCDオフ (初期値：オフ)	何もしない状態からモニター表示が消えるまでの時間を設定します。 オフ/1分/3分 ※モニターが消えている時、モニターをタッチすると表示されます。
衝撃感度 (初期値：中)	Gセンサーの感度を設定します。レベルが高いと敏感に、レベルが低いと鈍感になります。 オフ(Gセンサーオフ)/低/中/高
動体検知 (初期値：オフ)	録画停止中、センサーにより動体を検知すると自動的に録画を開始します。 オフ(動体検知機能オフ)/低/中/高
音量 (初期値：5)	録画ファイルの再生音や、操作音の音量を設定します。0~10まで10段階設定できます。
GPSステータス	GPSの受信状態を表示します。
設定のリセット	本機をご購入時の設定に初期化します。(→P.25)
SDフォーマット	microSDHCカードをフォーマットします。(→P.24)

駐車録画をする

【動体検知をオンにする】

動体検知機能をオンにすると、本機が駐車モードになり駐車録画を行います。フロントカメラのセンサーによって動体検知すると、自動的に1分間録画を行います。

- 1 録画中の場合、 を押して録画を停止します。
(※録画中は、設定メニューを表示できません。)



- 2  を押して、設定メニューを表示します。



- 3 メニューの「動体検知」をタッチします。



- 4 「低」～「高」のいずれかを選択し、動体検知を「オン」にします。

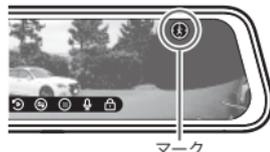


(初期値は「オフ」に設定されています。)

- 5  ボタンをタッチして録画画面に戻ります。



- 6 動体検知がオンになると駐車モードになります。画面右上に  マークが表示されて待機状態になります。



- 7 動体検知すると駐車録画を開始します。駐車録画を行った後、再び待機状態に戻ります。



※動体検知の感度は、使用状況により感度レベルを調整してください。



本機は電源が供給されていないと動作しません。駐車録画を行うには、モバイルバッテリー等の電源を供給できるような製品を別途ご用意ください。



- 電源を入れ直すと動体検知(駐車モード)は自動で「オフ」になります。
- 動体検知を「オン」にしても、本体の電源が入っていないと動作/録画は行われませんのでご注意ください。
- 動体検知が「オン」の場合、常時録画はされません。

【動体検知をオフにする】

- 1 録画中の場合、を押して録画を停止します。
(※録画中は、設定メニューを表示できません。)



- 2 を押して、設定メニューを表示します。



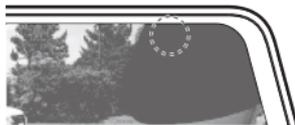
- 3 設定メニューの
「動体検知」をタッチし
ます。



- 4 「オフ」をタッチします。



- 5 動体検知がオフになると、
駐車モードがオフになり
画面右上のマークが
消灯します。
常時録画になります。



日付／時刻を設定する

- 1 録画中の場合、を押して録画を停止します。
(※録画中は、設定メニューを表示できません。)



- 2 を押して、設定メニューを表示します。



- 3 設定メニューの
「時間設定」をタッチ
します。



- 4 日付／時刻の設定画面に
切り替わります。



 : 数値を増やす

 : 数値を減らす

OK : 次に進む

※設定項目はオレンジ色で表示されます。
※設定をキャンセルする場合、をタッチ
します。

- 5 全て設定し終えたら「OK」の枠が黄色になりますので、
「OK」をタッチします。
設定が完了して設定メニューに戻ります。

microSDHC カードのフォーマット

- 1 録画中の場合、を押して録画を停止します。
(※録画中は、設定メニューを表示できません。)



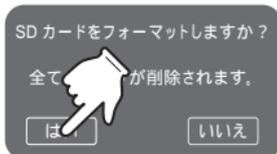
- 2 を押して、設定メニューを表示します。



- 3 設定メニューの「SD フォーマット」をタッチします。



- 4 右のようにメッセージが表示されますので、「はい」をタッチします。



※フォーマットをしない場合、「いいえ」をタッチしてください。

- 5 フォーマットが開始され、「SD カードのフォーマットが完了しました」と表示されたら、フォーマット完了です。



- 6 をタッチし、録画面に戻ります。



-  本機で初めて microSDHC カードを使用する場合、本機でフォーマットをしてください。
- microSDHC カードをフォーマットすると、全てのファイルが削除されますので、大切なファイルは事前にパソコン等へバックアップしておくことをおすすめします。

設定をリセットする

- 1 録画中の場合、を押して録画を停止します。
(※録画中は、設定メニューを表示できません。)



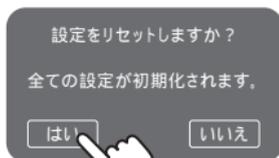
- 2 を押して、設定メニューを表示します。



- 3 「設定のリセット」をタッチします。



- 4 右のようにメッセージを表示しますので、「はい」をタッチします。



- 5 すべての設定が初期化されます。

初期値一覧

項目	初期値	説明
録画単位時間	1分	1ファイルあたり約1分で録画します。
音声録音	オン	録画と同時に音声を録音します。
音量	5	操作音や再生音の音量が5
言語	日本語	日本語で表示します。
自動 LCD オフ	オフ	モニターは常に表示しています。
衝撃感度	中	イベント録画を行う際の衝撃感度が中程度
動体検知	オフ	動体検知されません。(駐車モード「オフ」)

microSDHC カードについて

microSDHC カードの取り扱い方



- ・ microSDHC カードの抜き差しは必ず電源を切った状態で行ってください。
- ・ 本機は 8~32GB までの microSDHC カード (Class10 以上) に対応しています。

※必ず Class 10 以上を使用してください。

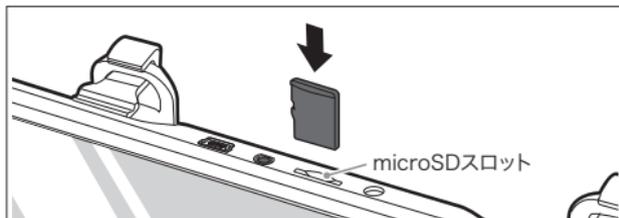
※製品の性質上、全ての環境、組み合わせの動作を保証するものではありません。

- **microSDHC カードは、初めに必ず本機でフォーマットをしてからご使用ください。**(→P.24)
- 端子部には、手や金属が触れないようにしてください。
- microSDHC カードに衝撃を与える、曲げる、落とす、水に濡らすなどはしないでください。
- 録画データの入っている microSDHC カードを使用する場合は、不測の事態に備えてデータのバックアップを必ず行ってください。
- 安定的な動作のため、1~2週間に1度、microSDHC カードのフォーマットを推奨します。
- microSDHC カードは消耗品です。長期間使用すると保存機能に問題が発生する恐れがありますので、定期的に新しい microSD カードに買い替えることを推奨します。
- 本製品はファイルシステム FAT32 でフォーマットした microSDHC カードしか認識できません。ご了承ください。

microSDHC カードの入れ方/出し方

【microSDHC カードの入れ方】

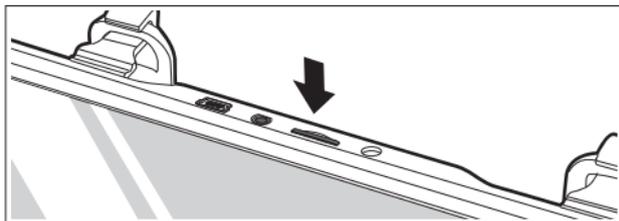
本体の電源が切れていることを確認してから、microSD スロットに microSDHC カードを図の向きに差し込みます。



※microSD カードの向きに注意してください。
※カチッと音がするまで、奥まで差し込んでください。

【microSDHC カードの出し方】

本体の電源が切れていることを確認してから、microSDHC カードの中央部を押して、microSDHC カードを取り出します。



※microSD カードの飛び出しにご注意ください。

録画ファイルについて

録画時間の目安

下記に表示された録画時間は、2カメラを使用した目安時間であり、使用状況によって異なります。

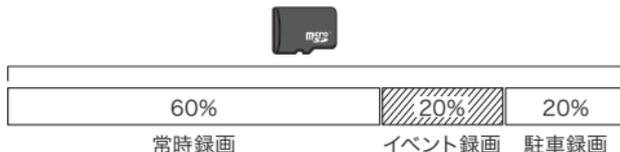
【録画時間の目安】

microSDHC カードの容量	フロント 1080P (1920×1080)
8GB	約 40 分
16GB	約 80 分
32GB	約 160 分

※上記の録画時間は常時録画、イベント録画(Gセンサー/手動)、駐車録画(動体検知)によるすべての合計です。目安であり絶対値ではありません。
 ※スピードクラス：Class10 を使用
 ※解像度は「1080P」で固定されています。

【microSDHC カードの容量の割当】

録画方法によって micro SDHC カードの容量がそれぞれ割り当てられています。

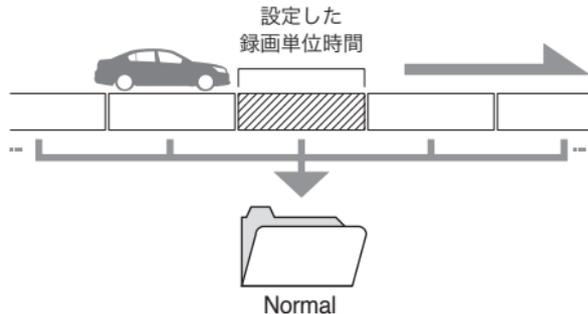


録画ファイルの種類について

【常時録画ファイル】

本機が起動してから終了するまで録画する、通常の録画ファイルです。設定した録画単位時間ごとに記録します。

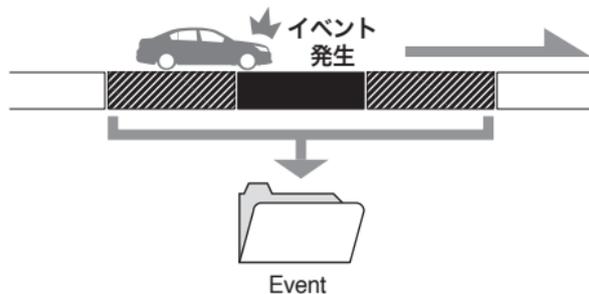
- 1ファイルあたりの録画時間は1分、2分、3分に設定できます。
- フロントカメラ側は **FILE [日付 - 時刻]JF.MOV**、リアカメラ側は **FILE [日付 - 時刻]JR.MOV** という形式で、「Normal」フォルダ内の「F (=Front)」「R (=Rear)」フォルダに保存されます。
- 容量が不足すると、一番古いファイルから上書きして保存します。イベント録画ファイル、駐車録画ファイル、保護されたファイルは上書きされません。
- 録画モード以外の操作を行っているとき、録画(常時/イベント/駐車)は行われません。



【イベント録画ファイル】

Gセンサーが一定以上の衝撃を感知したり、録画中に  をタッチすると、「ピッ」という効果音が鳴り、イベント録画として保存されます。

- フロントカメラ側は **EMER [日付 - 時刻]F.MOV**、リアカメラ側は **EMER [日付 - 時刻]R.MOV** という形式で、「Event」フォルダ内の「F」「R」フォルダに保存されます。
- イベントが発生した前後の動画が保存されます。(計3つの動画ファイルを同時保存)
- 録画時間単位は、常時録画の設定時間に連動します。
- これらの録画ファイルは上書きされませんが、microSDHCカードのフォーマットを行うと削除されます。



【駐車録画ファイル】

動体検知機能をオンにすると駐車モードに切り替わります。駐車モードがオンのとき、フロントカメラのセンサーによって動体検知をします。動体検知すると、自動的に駐車録画を開始します。

- フロントカメラ側は **PARK [日付 - 時刻]F.MOV**、リアカメラ側は **PARK [日付 - 時刻]R.MOV** という形式で、「Parking」フォルダ内の「F」「R」フォルダに保存されます。
- 録画時間単位は「1分」に固定されています。
- これらの録画ファイルは上書きされませんが、microSDHCカードのフォーマットを行うと削除されます。



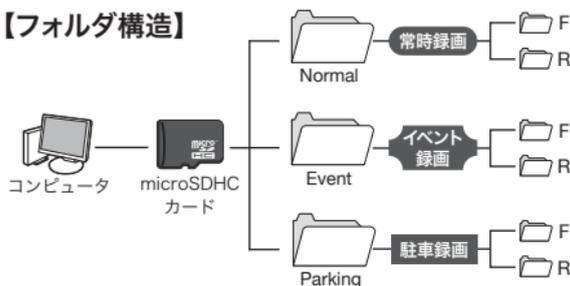
microSDHCカード内に、イベント/駐車録画ファイルや、保護されたファイルが存在して上書きするための容量が不足していると、「SDカードの空き容量がありません。」とメッセージを表示します。その場合、別のmicroSDHCカードを用意するか、ファイルをパソコン等にバックアップしてからSDフォーマットを行ってください。

パソコンでファイルを見る

録画ファイルはパソコンで再生/表示することができます。

- 1 パソコンに microSDHC カードを挿入します。
(別売の microSD カードリーダー等を使用します)
- 2 リムーバブルディスクの microSDHC カードを開きます。
- 3 それぞれのファイルが保存されているフォルダ (Normal、Event、Parking) を開きます。

【フォルダ構造】



※常時録画は Normal、イベント録画は Event、駐車モード録画は Parking にフォルダ分けされています。

※GPS アンテナを接続し、GPS を正しく受信すると、「DATA」フォルダが生成されます。

- 4 録画ファイルは、以下のプレーヤーで再生できます。
 - コーデックに対応した動画プレーヤー
MOV (ビデオ:H.264 オーディオ:ADPCM)

【パソコンでの表示画面】



- 1 表示画面 選択したファイルの映像が流れます。
- 2 録画日時 録画した日時を表示します。
- 3 GPS 情報 GPS アンテナを接続し、GPS を正しく受信していると、録画時の緯度経度情報、速度情報を表示します。

※すべてのパソコンにおいて動作を保証するものではありません。
※本機とパソコンを USB ケーブル等で直接接続しないでください。

故障かな?と思ったら

症 状	処 置	
電源が入らない	専用シガー電源アダプターが正しく接続されているかご確認ください。	P.9
	シガーソケットの内部が汚れていたり、異物がないかご確認ください。	P.9
microSDHC カードに録画できない/ microSDHC カードが認識できない	microSDHC カードが正しく挿入されているか確認してください。	P.26
	microSDHC カードをフォーマットするか、新しい microSDHC カードに交換してください。microSDHC カードは消耗品ですので、長期間使用した場合、正常に動作しない場合があります。(※正常に認識できない場合、microSDHC カードが破損している可能性があります。)	P.26
常時録画ができない	保護された常時録画ファイルが microSDHC カード容量の 60% を超える、または別のファイルで容量が不足していると、常時録画ファイルが生成できません。ファイルの保護を解除する、もしくは microSDHC カードのフォーマットを行ってください。	P.24 P.27
イベント録画ができない	イベント録画ファイルが microSDHC カード容量の 20% を超えると、イベント録画ファイルが生成できません。イベント録画ファイルを削除、もしくは microSDHC カードのフォーマットを行ってください。	P.24 P.27
	衝撃感度の設定値を調整してください。	P.21
駐車録画ができない	駐車録画ファイルが microSDHC カード容量の 20% を超えると、駐車録画ファイルが生成できません。駐車録画ファイルを削除するか、microSDHC カードのフォーマットを行ってください。	P.24 P.27
	動体検知を「オン」にしても、本体の電源が入っていないと動作、録画は行われません。	P.22
音声録音ができない	音声録音の設定がオンになっているか、ご確認ください。	P.21
	本機のマイク部に異物がないか、マイク部を遮るものがないかご確認ください。	P.6

症 状	処 置	
映像が汚い、映像が乱れる	カメラレンズまたは車のガラスを乾いた布などできれいに拭いてください。	P.8
	他の電子機器（GPS 機能付き製品、VICS 受信機、TV / ラジオアンテナ等）が影響している可能性があります。その場合、できるだけ離してご使用ください。	P.7
モニター表示されない	本体の電源がオンになっているかご確認ください。	P.14
	「自動 LCD オフ」が設定されていないかご確認ください。自動 LCD オフが設定されている場合、設定を「オフ」にするか、もしくはモニターをタッチすると表示されます。常にモニター表示したい場合、設定を「オフ」にしてください。	P.21
操作が効かない / 画面がフリーズして動かない / 誤作動を起こす	本体の電源を切ってから、再度電源を入れ直してください。それでも解決しない場合、本体背面のリセットボタンを押して、再起動を行ってください。	P.16
リアカメラの映像が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> ・ 接続ケーブルが正しく接続・配線されているかご確認ください。 ・ 本体の切り替えボタンを押すかモニター操作をして、表示を切り替えてください。 	P.10
リアカメラの映像が上下反転している	リアカメラの映像はモニターに鏡像で表示されますが、正像で記録されます。	P.12
日付がリセットされてしまう	長時間使用していなかった場合、時刻 / 日付がリセットされてしまいます。その際は、再度「時間設定」をしてから使用してください。	P.23

上記で問題が改善しない場合、または部品の追加購入について

エンプレイス・サポートセンター **0570-005-051** までご連絡ください。

仕様

ドライブレコーダー本体

サイズ/重量	約 (W)260 x(H)75 x(D)22 mm (バンド、レンズ部を除く) / 約 340 g
記録媒体	32GB microSDHC カード (Class10) 付属 8GB~32GB microSDHC カード (Class10 以上) に対応
カメラ	200 万画素 Full HD WDR (ワイドダイナミックレンジ) 搭載 (※フロントカメラのみ) 対角 125°/水平 110°/垂直 60° FHD 1920x1080
フレームレート	27.5 fps
音声	マイク、スピーカー内蔵
G センサー	3 軸 G センサー
電源電圧	DC 5V (専用シガー電源アダプターで DC12V / 24V 車に対応)
最大消費電流	1,600mA
動作温度	-10°C ~ 60°C
録画	常時録画 (録画単位時間: 1 分、2 分、3 分) イベント録画 (録画時間: 常時録画に連動) / 駐車録画 (録画時間: 1 分) エンジン オン/オフ に連動して記録
動画ファイル形式	MOV (ビデオ: H.264、オーディオ: ADPCM)*
LCD (液晶ディスプレイ)	9.35 インチ IPS 液晶
ミラー形状	平面型

リアカメラ

サイズ/重量	約 (W)50 x(H)26 x(D)30 mm (ブラケット部を除く) / 約 33 g
カメラ	200 万画素 FULL HD 対角 135°/水平 114°/垂直 58° FHD 1920x1080
フレームレート	27.5 fps
録画	録画時間: フロントカメラに連動
動画ファイル形式	MOV (ビデオ: H.264、オーディオ: ADPCM)*

※一般の動画プレーヤーで再生できます。MOV(ビデオ:H.264、オーディオ:ADPCM) が再生可能なプレーヤーが必要です。

本体仕様／アフターサービス

アフターサービス

保証について

本製品の保証期間はご購入後1年間です。

保証期間中は保証規定に従って修理させていただきます。

保証期間外でも修理により性能が維持できる場合、お客様のご要望により有償修理させていただきます。
(保証対象は本体のみとなります。付属品は保証対象外となります。)

修理に関するご相談窓口

受付時間をご確認の上、エンブレイス・サポートセンターにご連絡ください。

■アフターサービス及び製品に関するお問い合わせは
「エンブレイス・サポートセンター」までお願いします。

0570-005-051

平日 10:00~12:00、13:00~17:00
(土日祝祭日、当社の休日を除きます)

休日前後は電話がつながりにくい場合があります。

その際は時間をおいてからおかけ直しいただきますようお願い致します。

アフターサービスのためにサポートセンターに商品をお送りいただく場合の送料は、
保証期間内外を問わず、お客様のご負担となります。

販売元：株式会社エンブレイス